

【広域ブロック自立施策推進調査】

フォローアップ報告書

調査名		10.健康文化産業の成長支援等による高齢者が健康に暮らせる生活圏形成にかか調査	
調査主体	幹事府省(庁)局課名	経済産業省近畿経済産業局企画部企画課	
	関係府省(庁)局課名等	国土交通省近畿地方整備局企画部広域計画課、神戸市、京都市	
調査地域		大阪府、兵庫県、京都府、和歌山県、滋賀県、福井県、奈良県、大阪市、堺市、京都市、神戸市	
調査年度		平成20年度	
配分額		29,473千円	
調査概要	調査内容	少子高齢化が進展する中、関西は、三大都市圏の中で最も早い高齢化が見込まれており、高齢者等が健康に暮らせる社会を実現することが急務となっている。このため、高齢者等のニーズにいち早く対応した新産業・生活空間を創造・整備していくことにより、近畿圏広域地方計画の推進を図る。そのために健康文化産業にかかる実態調査をアンケートやヒアリング等により実施するとともに、異業種連携等による新産業の創出のための基盤整備や市場拡大方策の検討を行った。また、生活空間の整備に向けて、京都市圏をモデル地域とした安全で快適な歩行者空間のあり方や、パークアンドライドの促進方策について検討し、「歩く」ライフスタイルを促進するための方策を体系的に整理するとともに、パーソントリップ調査等を活用し、パークアンドライド駐車場の配置計画や需要推計、広報・PR強化方策など基本計画を策定した。	
	調査結果(成果)	健康文化産業に関するフォーラムを開催するとともに、異業種による新事業創出の機会をつくるためのマッチング会を開催し、健康文化産業の概念を普及するとともに新たな産業創出の場を提供した。その結果、地域における健康効果の見える化の必要性が顕在化し、その情報基盤整備として、ブロック内の広域医療プロジェクトの取組のひとつとして位置づけられた。また、「歩く」ライフスタイルの衰退の実態と背景を明らかにし、京都圏をモデル地域としたパークアンドライドの乗換駅や乗換駐車場の整備方針を検討した。これを踏まえ、京都市圏に観光や通勤に対応したパークアンドライド駐車場を設置するなど、市内及び近隣市町に分散確保方策を作成し、パークアンドライドの持続的運営方策やショッピングセンター顧客用駐車場の活用手法について具体的な提案を行った。	
	関係する広域地方計画(中間整理(案)等)	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年3月近畿圏広域地方計画中間整理第3部第3節(1)、第4節(1)、第4部第10節 平成21年3月近畿圏広域地方計画プロジェクト 10. 広域医療プロジェクト 	
		調査結果の活用状況	調査結果を受けた具体化
計画	期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> HPへの掲載等による健康長寿社会の形成に向けての啓蒙。 企業の参入を促す場の提供を行う予定。 健康効果にかかる評価のしくみの検討予定。 京都市及びその周辺市町とのパークアンドライドに関する連絡体制が構築予定。 	<ul style="list-style-type: none"> 近畿圏広域地方計画第3部第3節(1)「次世代産業の育成」及び第4節(1)「地球温暖化対策の推進」に、健康文化産業の育成等が記載予定。 神戸市等における健康個人情報基盤整備を支援するための取組を実施予定。 健康文化産業にかかる新たな市場を開拓するために、健保組合等の個別チャネルを深掘りする予定。 京都市においてパークアンドライドに関する情報提供を行うHPを構築予定。 京都市とその周辺市町によるパークアンドライド協議会を設立予定。 京都市においてパークアンドライドの実施に反映予定。
	21年度	<ul style="list-style-type: none"> 健康長寿産業関連企業との連絡体制の構築。 健康長寿産業参入セミナーを開催。 京都市HPIにおいてパークアンドライドに関する情報提供の充実。(モバイルサイトの開設) 	<ul style="list-style-type: none"> 近畿圏広域地方計画第3部第3節(1)「次世代産業の育成」に健康文化産業の育成等が記載。 京都市と、国、京都府、近隣市町、高速道路事業者等による「京都市圏パークアンドライド連絡協議会」の設立。 京都市においてパークアンドライドの拡大実施。(11月の観光シーズン最盛期に加え、通年の土曜・日曜・休日、お盆、年末年始に実施)
22年度	<ul style="list-style-type: none"> 当局による「関西の地域特性を活かした健康長寿産業の新たな展開にかかる調査研究」の実施。 近畿地方整備局、近畿運輸局、大阪府と連携し、上記調査研究の検討会を開催。 上記調査での検討結果を「国際医療交流における関西ブランドの構築に向けて」として取りまとめ。 京都市HPIにおいてパークアンドライドに関する情報提供を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 京都市においてパークアンドライドの拡大実施。(21年度に加え、通年の平日及び春の観光シーズン(平成23年3月～5月)にも実施) 	
23年度	<ul style="list-style-type: none"> 京都市HPIにおいてパークアンドライドに関する情報提供を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 京都市においてパークアンドライドの通年実施。 日本道路交通情報センターとの連携によるデジタルメディアを活用した道路交通情報と駐車場情報、公共交通情報の一体的な情報提供に係る社会実験の実施(11月)。 阪神高速8号京東線鴨川西ランプ高架下を活用したパークアンドライドの暫定利用。 	
総括的評価		<p>【調査目的の達成状況とその要因】</p> <p>今回の調査を踏まえ、近畿圏広域地方計画第3部第3節(1)「次世代産業の育成」に健康文化産業の育成等が記載された。現在では、各省庁と大阪府との検討会は開催されていないが、健康文化産業は関西イノベーション国際戦略総合特区でも実施が検討される等、具体的な効果の発現につながることで、ブロック内の交流・連携が一層推進された。よって当初の期待された効果は達成されたと考えられる。</p> <p>京都市圏をモデル地域としたパークアンドライドに関する検討については、今回の調査を踏まえ、平成21年以降の京都市における施策に反映され、利用台数が年々増加するなど一定の効果をあげている。パークアンドライドの取組は、自家用車を利用した移動を歩くことが欠かせない公共機関の利用に転換する施策であり、「歩く」ライフスタイルを促進する当初の目的については、達成されたと考えられる。</p> <p>【調査手法の妥当性】</p> <p>調査事業の実施後も近畿地方整備局と関連調査研究の検討会を開催する等調査手法は妥当であったといえる。</p>	
フォローアップ			